COMPAQ

Software Product Description

日本語 Compaq OpenVMS Alpha オペレーティング・システム ,SPD 25.C4.15
日本語 Compaq OpenVMS VAX オペレーティング・システム V7.3 ソフトウェア仕様書

仕様書の包含する範囲

本書は，日本語 Compaq OpenVMS Alpha オペレーティング・システム V7.3 および日本語 Compaq OpenVMS VAX オペレーティング・システム V7.3 (以下それぞれ，日本語 Compaq OpenVMS Alpha，日本語 Compaq OpenVMS VAX と記述します) のソフトウェア機能仕様を述べたものです。

ここでは標準版 Compaq OpenVMS Alpha オペレーティング・システム，Compaq OpenVMS VAX オペレーティング・システム (以下それぞれ，標準版 Compaq OpenVMS Alpha，標準版 Compaq OpenVMS VAX と記述します) に追加/拡張された日本語処理の機能仕様についてのみ記述していますので，標準版に含まれている基本機能については『Compaq OpenVMS Operating System for Alpha and VAX, Version 7.3 Software Product Description (SPD 25.01.59 ?)』を参照してください。

1 日本語処理の概要

日本語 Compaq OpenVMS は，標準版 Compaq OpenVMS を拡張して，以下の諸領域での日本語の取り扱いを可能にしています。標準版 Compaq OpenVMS の基本機能を損なうことなく，追加機能として日本語処理を組み込んだものです。したがって，日本語 Compaq OpenVMS では標準版に含まれる機能はそのまま利用できます。

周辺装置やターミナル・デバイスなどの環境があれば，日本語を取り扱うことができますし，英語のターミナル・デバイスなどからは，基本としている英語のままで Compaq OpenVMS を利用できます。日本語 Compaq OpenVMS のもとでは，英語と日本語の双方の処理が可能で，矛盾なく混在できます。

日本語 Compaq OpenVMS には，次の機能があります。

- 日本語ターミナルのドライバ・プログラム
- ユーザ定義文字の作成/更新ユーティリティ
- かな漢字変換用辞書
  メインテナンス・ユーティリティ
- 日本語処理用ランタイム・ライブラリ
- 日本語画面管理ライブラリ
- 日本語エディタ
- 日本語メール・ユーティリティ
- 日本語ソート/マージ
- 漢字プリント・シンビオント
- 日本語ファイル名
- その他の日本語処理用ユーティリティ
  (KINQUIRE， KCODE， KCONVERT)
- 変換キー定義ライブラリ
- デバッガ日本語サポート

1.1 日本語ターミナル

漢字文字集合

日本語 Compaq OpenVMS では， DEC 漢字 1983 年版漢字ターミナルと DEC 漢字 1978 年版漢字ターミナルを利用できます。

2001 年 7 月
AE-QU1CE-TE

1983 年版漢字ターミナルでは，JIS X 0208-1983 に準拠した 6,877 字の DEC 漢字 1983 年版文字集合とユーザ定義文字などのための 8,836 字，合計 15,713 字の文字集合を利用できます。 1978 年版漢字ターミナルでは，JIS C 6226-1978 に準拠した 6,802 字の DEC 漢字 1978 年版文字集合とユーザ定義文字などのための 8,836 字，合計 15,638 字の文字集合を利用できます。

DEC 漢字文字集合の詳細については，
『日本語 Compaq OpenVMS 概説書』に記述してあります。

ターミナル・デバイス

漢字ターミナル・デバイスには，漢字 ROM（固定記憶装置）に JIS レベル 1 および 2 に相当する文字フォントを内蔵するものと JIS レベル 1 だけをもつものの 2 種類があります。

漢字ディスプレイ/キーボード・ターミナルでは，これら以外のユーザ定義文字等の追加フォントを初期設定時に転送するプリローディング方式，または必要時に転送するオンデマンド・ローディング方式によって表示します。漢字プリンタでは，ダイナミック・プリローディング方式によって追加フォントを表示します。

オンデマンド・ローディング方式には，漢字ターミナル・デバイスのフォント要求機能を用いるハードウェア・オンデマンド・ローディングと，漢字ターミナル・デバイスのフォント要求機能を用いないソフトウェア・オンデマンド・ローディングがあります。

ハードウェア・オンデマンド・ローディングは，ソフトウェア・オンデマンド・ローディングが使用しない場合，漢字ターミナル・デバイスのフォント要求を使用します。

ソフトウェア・オンデマンド・ローディング方式では，ホストに直結，または DECserver 経由で接続されたターミナル・デバイスへの文字の表示をサポートします。ただし，1 つの漢字ターミナル・デバイスからターミナル・サーバ経由で複数のセッションを使用している場合，その各セッションで同時にソフトウェア・オンデマンド・ローディングを使用することはできません。また，プリローディング方式との併用はできません。

ハードウェア・オンデマンド・ローディング方式は，以下のターミナル・サーバ経由の接続のみサポートされます。

- ターミナル・サーバ

  DECserver 90M
  DECserver 90L+
  DECserver 90TL
  DECserver 200
  DECserver 300
  DECserver 500
  DECserver 700

ハードウェア・オンデマンド・ローディング方式は，1 つの漢字ターミナル・デバイスからターミナル・サーバ経由で複数のセッションで同時に使用することができます。ただし，複数のホストに接続してハードウェア・オンデマンド・ローディングを使用する場合は，接続しているすべてのホストのフォント・データベースが同一である必要があります。

以下のターミナル・デバイスは，JIS レベル 1 に相当する文字フォントを内蔵しています。

- 漢字ディスプレイ・キーボード端末

  VT282-EA（Alpha 版ではサポートされません）

以下のターミナル・デバイスは，JIS レベル 1 および 2 に相当する文字フォントを内蔵しています。

- 漢字ディスプレイ・キーボード端末

  VT284-FA, VT286-FA
  VT382-FA， VT382-FA，
  VT382-FB， VT382-FC，
  VT382-FE， VT382-FG

- 漢字プリンタ

  LA86-AA, LA86-AB,
  LA88-AA, LA88-AB,
  LA90-AA, LA90-AB,
  LA280-AA, LA280-AB,
  LA380-AA, LN03S-JA,
  DEClaser 2300
  DEClaser 2400

上記ターミナル・デバイスに加えて，Compaq DECwindows 対応として，次のターミナル・デバイスが利用できます。

- 日本語 VXT2000

1.2　オペレーティング・システム環境

DECnet ソフトウェア

DECnet においての日本語処理では，漢字データの転送 (ファイル転送，タスク間通信) およびリモート・ターミナル操作 ($ SET HOST コマンド) が可能です。ただし，DECnet を経由してのオンデマンド・ローディングはサポートされていません。リモート・ターミナルで日本語処理を効果的に行うには，プリローディング方式を行うことをお勧めします。

OpenVMS Cluster ソフトウェア

OpenVMS Cluster では，各ノード間で漢字データを共用できます。また，コモン・システム・ディスクに日本語 Compaq OpenVMS をインストールすることも可能です。

ただし，OpenVMS Cluster 環境におけるリモート・ターミナル操作では，前項の "DECnet ソフトウェア "と同様の制限があり，他ノードのユーザ定義文字の使用は，プリローディング方式で行います。

1.3　端末およびコード系の互換性

DEC 漢字文字集合は，日本語 Compaq OpenVMS および日本語 ULTRIX，日本語 Compaq Tru64 UNIX に共通で，互換性があります。したがって，これらのシステム間でのデータの受け渡しや端末エミュレーションを行う場合，漢字コード系にかかわる問題はありません。

1.4　漢字プリント・シンビオント

LA シリーズの漢字プリンタで拡張漢字を印字するために拡張されたプリント・シンビオントです。ホスト直結用と LAT 経由用の 2 種の漢字プリント・シンビオントがあります。

漢字プリンタでは，漢字プリント・シンビオントを利用して印刷することで，ユーザ定義文字の追加フォントを使用することができます。接続コントローラの制限やプリンタの登録可能文字数による制限もありません。

1.5　フォント・ユーティリティ

日本語 Compaq OpenVMS は，ユーザ定義文字などのフォントを作成し維持更新するための Character Manager ユーティリティを提供しています。 Character Manager は，サブコマンドでユーザ定義文字の作成/登録等ができます。

1.6　かな漢字変換用辞書

かな漢字変換を行うための辞書として，一般的な国語辞書に人名および地名を加えた，約 10 万語を備えたものを提供しています。辞書は，かな漢字変換ライブラリを利用することによってユーザ・プログラムからも簡単にアクセスできます。

日本語 Compaq OpenVMS には，システム辞書 (マスター辞書) に加えて，ユーザごとにそのユーザの参照した単語だけを抜き出して保有する個人辞書 (ユーザ辞書) 機能があります。通常のかな漢字変換はこのメカニズムから，主としてマスター辞書を利用し，個人辞書はユーザが登録した単語や，自動的に学習された単語を記録し，変換効率を上げる目的で使われます。

1.7　かな漢字変換ライブラリ

日本語 Compaq OpenVMS は，かな漢字変換 (ローマ字漢字変換を含む) にかかわる各種操作を行うサブルーチン・ライブラリを提供します。このライブラリは Compaq OpenVMS の標準のコーリング・シーケンスを用いており，各種のプログラミング言語で作成されたプログラムから呼び出して利用することができます。ライブラリをコールして，かな漢字変換操作を行ったり，かな漢字変換付のデータ入力操作を行うプログラムを作成することができます。

かな漢字変換ライブラリの辞書は，日本語 Compaq OpenVMS の各種アプリケーション・ソフトウェアで共通に利用できます。ライブラリの構成内容は日本語 ULTRIX や日本語 Compaq Tru64 UNIX との互換性があります。

1.8　日本語画面管理ライブラリ (日本語 SMG)

日本語画面管理ライブラリ (日本語 SMG) は，標準版 SMG に日本語処理機能を拡張したバージョンです。

1.9　DEC XTPU

DEC XTPU は，DECTPU に日本語処理機能を追加したものです。 DEC XTPU は，高性能でプログラマブルなテキスト処理用のユーティリティで，マルチ・バッファ，マルチ・ウィンドウ，サブプロセス機能など数多くの特徴があります。 DEC XTPU には標準として，高度な日本語編集機能をもつエディタ，日本語 EVE V3 が用意されています。日本語 EVE V3 には，いままで EVEJ を使っていたユーザのために， EVEJ エミュレーション機能があります。

1.10　日本語メール・ユーティリティ

日本語 Compaq OpenVMS は，日本語メール・ユーティリティを提供しています。基本機能は OpenVMS Mail と同じです。ユーザは標準版 OpenVMS Mail と日本語メールの両方を使用することができます。

DECnet で連結されたシステム間での日本語メールを送受信できます。メール・ルーティングのためのシステムや日本語の読み書きが不要なネットワーク・システムでは，必ずしも日本語 Compaq OpenVMS を必要としません。

日本語メール・ユーティリティでは，エラー・メッセージやヘルプ・メッセージは日本語化されています。

1.11　日本語ソート・マージ

標準版 SORT/MERGE に以下の機能を追加・拡張したものです。 SORT/MERGE のコレーティング・シーケンス処理に，漢字特有の性質を考慮しています。

- 音読み順ソート/マージ
- 訓読み順ソート/マージ
- 部首コード順ソート/マージ
- 総画数順ソート/マージ
- 国語辞典方式ソート/マージ

国語辞典方式では，ふりがなフィールドに全角または半角文字を使用することができます。

1.12　日本語ファイル名 (Alpha のみ)

Extended File Specification の機能により，日本語のファイル名を ODS-5 ディスクに Unicode 形式で格納することが出来ます。また， RMS や一部のコマンド/ユーティリティでは， ODS-5 のファイルに対して， DEC 漢字コードを用いて最大 118 文字の日本語ファイル名を扱うことができます。

日本語ファイル名をサポートするユーティリティについては『日本語 Compaq OpenVMS V7.3 リリースノート』を参照してください。

1.13　翻訳メッセージ/ヘルプ・ユーティリティ

翻訳メッセージ/ヘルプ・ユーティリティは， Compaq OpenVMS のメッセージおよびヘルプを日本語で参照できるようにするユーティリティです。翻訳メッセージ/ヘルプが提供する機能は次のとおりです。

- いくつかの Compaq OpenVMS コマンドとユーティリティの日本語に翻訳されたメッセージとヘルプを提供します。
- 使用したい言語を選択するためのコマンド・プロシージャを提供します。

翻訳メッセージ/ヘルプでは，プロセスごとに使用する言語を選択することができます。システムにログインした状態では英語に設定されています。

1.14　日本語 OpenVMS テーラリング (VAX のみ)

日本語 OpenVMS テーラリング・ユーティリティは，日本語 Compaq OpenVMS をインストールしたシステム・ディスクに，ファイルを追加する，または，削除することを可能にします。追加または削除する日本語 Compaq OpenVMS のファイルは，クラス (機能単位) あるいはサブクラス (クラスの中のユーティリティ単位) で指定することができます。

1.15　ユーザ・キー定義ライブラリ (IMLIB)

ユーザ・キー定義ライブラリ (IMLIB) は，かな漢字変換のキー定義をユーザが変更できるようにするためのライブラリです。

IMLIB を使用すると，ユーザは違うアプリケーション内で，同じかな漢字変換キー定義を使用することができます。 IMLIB を使用して作られたアプリケーションで，かな漢字変換を実行することにより，ユーザは独自の定義されたキーを使用することができます。

1.16　日本語デバッガ・サポート

日本語デバッガ・サポートは，日本語 COBOL の日本語機能を用いたプログラムのデバッグを容易に行うことを目的とする機能です。

次の機能をサポートします。

- 日本語ユーザ定義語
- 日本語文字定数
- 日本語によるコメント
- かな漢字変換機能
- 日本語 Compaq DECwindows インタフェース

1.17　フロントエンド日本語入力プロセス (FIP)

フロントエンド日本語入力プロセス (FIP) は，日本語 Compaq OpenVMS 上の漢字ターミナル (VT284， VT382 等) 上で動いているアプリケーションに，日本語を入力するためのフロントエンド・システムです。

FIP を起動している環境下では，アプリケーションの入力要求にしたがって FIP が日本語入力を行い，その結果をアプリケーションに返します。この時使用されるインタフェースは，システム・サービスの$QIO です。したがって，日本語入力機能を持たないアプリケーションに対しても，日本語の入力が可能となります。

1.18　KINQUIRE ユーティリティ

Compaq OpenVMS の INQUIRE コマンドの日本語版である KINQUIRE は，日本語を含む DCL コマンド・プロシージャなどに利用できます。

1.19　KCODE ユーティリティ

KCODE ユーティリティは， DEC 漢字コードを他の漢字コードへ変換したり，他の漢字コードを DEC 漢字コードに変換します。

JIS 漢字コードや CP/M 漢字コード，MS–DOS漢字コード，さらに主要なコンピュータ・ベンダー独自のコード系 (IBM，富士通，日立各社の M シリーズ用漢字コード系，日本電気 (各種) コード系) からの，またはそれらへの，漢字コード変換を行います。

1.20　KCONVERT ユーティリティ

KCONVERT は，変換テーブルに従って漢字コードを変換します。 DEC 漢字 1978 年版から 1983 年版への変換またはその逆の変換に使用します。 DEC 漢字 1978 年版から 1983 年版への変換またはその逆の変換に用いる変換テーブルは日本語 Compaq OpenVMS に含まれています。

1.21　日本語 Compaq DECwindows フォント・ファイル/キーマップファイル

ワークステーション上で日本語を表示するための漢字フォントとして，スクリーン，明朝，ゴシックのフォントを提供します。利用できるフォントの大きさは，スクリーンは 4 種類，明朝，ゴシックは 6 種類です。

キーマップファイルは，Alpha 版の場合，LK401-JJ 等の JIS 配列キーボードや OADG 106 キー日本語キーボード (PCXAJ-AA) を含む 7 種類のキーボードをサポートします。

VAX 版の場合，キーマップ・ファイルは，LK401-JJ 等の JIS 配列キーボードを含む 6 種類のキーボードをサポートします。

2　必要なハードウェアの最小構成

2.1　適用プロセッサ (Alpha)

Alpha Processor:
- DEC 2000 モデル 300, 500
- DEC 3000 モデル 300, 300L
- DEC 3000 モデル 300X, 300LX
- DEC 3000 モデル 400, 400S
- DEC 3000 モデル 500, 500S, 500X
- DEC 3000 モデル 600, 600S
- DEC 3000 モデル 700, 700LX
- DEC 3000 モデル 800, 800S
- DEC 3000 モデル 900, 900LX
- DEC 4000 モデル 600 シリーズ
- DEC 4000 モデル 700 シリーズ
- DEC 7000 モデル 600 シリーズ
- DEC 10000 モデル 600 シリーズ

Alpha Station:
- Alpha Station 200 シリーズ
- Alpha Station 250 シリーズ
- Alpha Station 255 モデル 233
- Alpha Station 255 モデル 300
- Alpha Station 400 シリーズ
- Alpha Station 500 モデル 266
- Alpha Station 500 モデル 333
- Alpha Station 500 モデル 400
- Alpha Station 500 モデル 500
- Alpha Station 600 シリーズ
- Alpha Station 600A シリーズ
- DPWau 433au, 500au, 600au
- Alpha Station DS20e
- Alpha Station ES40
- Alpha Station XP900/DS10
- Alpha Station XP1000

Digital Server:
- Digital Server 2100 モデル A500MP
- Digital Server 2100 モデル A600MP

Alpha Server:
- Alpha Server 300 シリーズ
- Alpha Server 400 シリーズ
- Alpha Server 800 シリーズ
- Alpha Server 1000 シリーズ
- Alpha Server 1000A シリーズ
- Alpha Server 1200 シリーズ
- Alpha Server 2000 シリーズ
- Alpha Server 2100 シリーズ
- Alpha Server 2100A シリーズ
- Alpha Server 2100A LP シリーズ
- Alpha Server 4000 シリーズ
- Alpha Server 4100 シリーズ
- Alpha Server 8200 シリーズ
- Alpha Server 8400 シリーズ
- Alpha Server DS10, DS10L, DS20, DS20E
- Alpha Server ES40
- Alpha Server GS60, GS60E, GS80
- Alpha Server GS140, GS160, GS320

2.2　必要な最小ハードウェア (Alpha)

- CD-ROM ドライブ

内蔵 CD-ROM を持たない DEC 7000 モデル 600 シリーズや DEC 10000 モデル 600 シリーズにインストールする場合には，RRD42 等の CD-ROM ドライブまたはアクセス可能な Ethernet に接続された InfoServer が必要です。

※ InfoServer については『InfoServer Software Product Description (SPD 33.20.xx)』を参照してください。

- ディスク・ドライブ

RA，RF または RZ シリーズのディスク装置が必要です。

- メインメモリ

最小 64 MB 以上のメイン・メモリが必要です。

- ターミナル・デバイス

コンソール・ターミナル・デバイスおよび漢字ディスプレイ・ターミナル・デバイスの両方が必要です。ただし，ワークステーションの場合には，これらは不要です。

2.3　適用プロセッサ（VAX）

VAX Processor:
- VAX 4000 モデル 50
- VAX 4000 モデル 100
- VAX 4000 モデル 100A, 105A
- VAX 4000 モデル 106A, 108
- VAX 4000 モデル 200
- VAX 4000 モデル 300
- VAX 4000 モデル 400
- VAX 4000 モデル 500
- VAX 4000 モデル 500A, 505A
- VAX 4000 モデル 600
- VAX 4000 モデル 600A
- VAX 4000 モデル 700A, 705A
- VAX 6000モデル 200 シリーズ
- VAX 6000モデル 300 シリーズ
- VAX 6000モデル 400 シリーズ
- VAX 6000モデル 500 シリーズ
- VAX 6000モデル 600 シリーズ
- VAX 7000 モデル 600 シリーズ
- VAX 7000 モデル 700 シリーズ
- VAX 7000 モデル 800 シリーズ
- VAX 8200, VAX 8250, VAX 8300, VAX 8350
- VAX 8500, VAX 8530, VAX 8550, VAX 8600
- VAX 8650, VAX 8700, VAX 8800, VAX 8810
- VAX 8820, VAX 8830, VAX 8840, VAX 8842
- VAX 8974, VAX 8978
- VAX 9000モデル 110, 110VP
- VAX 9000モデル 210, 210VP
- VAX 9000モデル 300 シリーズ
- VAX 9000モデル 400 シリーズ
- VAX 10000 モデル 600 シリーズ

MicroVAX:
- MicroVAX II
- MicroVAX 3100 モデル 10,10E
- MicroVAX 3100 モデル 20,20E
- MicroVAX 3100 モデル 30,40
- MicroVAX 3100 モデル 80,85,88
- MicroVAX 3100 モデル 90,95,96,98
- MicroVAX 3300
- MicroVAX 3400
- MicroVAX 3500
- MicroVAX 3600
- MicroVAX 3800
- MicroVAX 3900

VAXstation:
- VAXstation 3500
- VAXstation 3520
- VAXstation 3540
- VAXstation 4000 VLC
- VAXstation 4000 モデル 60
- VAXstation 4000 モデル 90,95,96

VAXserver:
- VAXserver 3100 モデル 10, 10E
- VAXserver 3100 モデル 20, 20E
- VAXserver 3300
- VAXserver 3400
- VAXserver 3500
- VAXserver 3600
- VAXserver 3800
- VAXserver 3900
- VAXserver 4000 モデル 200
- VAXserver 4000 モデル 300
- VAXserver 4000 モデル 400
- VAXserver 4000 モデル 500
- VAXserver 4000 モデル 600
- VAXserver 6000 モデル 210,220
- VAXserver 6000 モデル 310,320
- VAXserver 6000 モデル 410,420
- VAXserver 6000 モデル 510,520
- VAXserver 6000 モデル 610
- VAXserver 6000 モデル 620
- VAXserver 6000 モデル 630
- VAXserver 8200, 8250
- VAXserver 8300, 8350
- VAXserver 8530, 8550
- VAXserver 8600, 8650
- VAXserver 8700
- VAXserver 8800, 8810, 8820, 8830, 8840

2.4　適用されないプロセッサ（VAX）

- MicroVAX I
- MicroVAX 2000
- VAX–11/725, VAX–11/730, VAX–11/750, VAX–11/751, VAX–11/780, VAX–11/782, VAX–11/785
- VAXft モデル 110, 310, 410, 610, 810
- VAXstation I
- VAXstation II/GPX, VAXstation II/QVSS
- VAXstation 2000, 2000/GPX, 2000/MFB

2.5　必要な最小ハードウェア (VAX)

- ディスク・ドライブ

RD，RA，RF または RZ シリーズのディスク装置が必要です。ただし，RD32, RD51, RD52, RD53 および RZ22 は，システム・ディスクとして使用することはできません。また，日本語 Compaq DECwindows をインストールする場合には，このほか RZ23 もシステム・ディスクとして使用することはできません。

- テープまたは CD-ROM ドライブ

TF85，TK50，TK70，TZ30 カートリッジ・テープ・ドライブ，または RRD42 等の CD-ROM ドライブが必要です。

- メインメモリ

最小 14 MB 以上のメイン・メモリが必要です。

- ターミナル・デバイス

コンソール・ターミナル・デバイスおよび漢字ディスプレイ・ターミナル・デバイスの両方が必要です。ただし，ワークステーションの場合には，これらは不要です。

3　必要なディスク容量

(Block Cluster Size=1 の場合)

3.1　日本語 Compaq OpenVMS Alpha

インストール時:	約 91,000 ブロック (45M バイト)
システム運用時:	約 89,000 ブロック (45M バイト)

これらのディスク容量は，日本語部分の概数です。この他に標準版 OpenVMS オペレーティング・システムのディスク容量が必要です。正確な値は，システムの環境，構成などによって異なります。

3.2　日本語 Compaq OpenVMS VAX

インストール時:	約 77,000 ブロック (38.5M バイト)
システム運用時:	約 69,000 ブロック (34.5M バイト)

これらのディスク容量は，日本語部分の概数です。この他に標準版 OpenVMS オペレーティング・システムのディスク容量が必要です。正確な値は，システムの環境，構成などによって異なります。

また，システム・ディスクの容量が十分でない場合には，日本語 Compaq OpenVMS テーラリング・ユーティリティを使用することにより，一部のユーティリティを削除することができます。テーラリング可能なクラスには次のものがあります。

- Obsolete Files (古いファイル)
- Japanese Utilities (日本語ユーティリティ)
- Kanji Font Utilities (漢字フォント・ユーティリティ)
- Programming Support (プログラミング・サポート)
- 翻訳メッセージ/ヘルプ
- Kana Utility (カナ・ユーティリティ)
- IVP (インストレーション検証プロシージャ)
- Examples (例, 例題ファイル)
- DECwindows/Japanese files
  (日本語 Compaq DECwindows フォント・ファイル等)

4　クラスタ環境

日本語 Compaq OpenVMS は，正規のライセンスを持つ OpenVMS Cluster 構成上にインストールされている場合は，機能上の制約を受けません。

OpenVMS Cluster 構成についての詳しい説明は『Compaq OpenVMS Cluster Software Description (SPD 29.78.xx)』を参照してください。また，この構成には CI, NI および Mixed Interconnect 構成が含まれます。

5　必要なソフトウェア

- 標準版 Compaq OpenVMS オペレーティング・システム

Alpha 版：

日本語 Compaq OpenVMS Alpha V7.3 をインストールする前に，標準版 Compaq OpenVMS Alpha V7.3 がインストールされていることが必要です。

VAX 版：

日本語 Compaq OpenVMS VAX V7.3 をインストールする前に，標準版 Compaq OpenVMS VAX V7.3 がインストールされていることが必要です。

- XPG4 ロケール・データ・ファイル

XPG4 ロケール・データ・ファイルのキットは日本語 Compaq OpenVMS V7.3 のメディアに含まれています。

- VMS テーラリング (VAX のみ)

日本語 Compaq OpenVMS の全機能を得るには，標準版 Compaq OpenVMS の以下の構成要素が必要です。

- VMS Required Saveset
- Secure User's Environment
- Network Support

ただし，Secure User's Environment および Network Support は，JMAIL を使用する場合のみ必要です。

6 バージョンアップの考慮

本製品の将来のバージョンでは，必要なハードウェアおよびソフトウェアの最小構成が変更されることがあります。

7 提供媒体

日本語 Compaq OpenVMS Alpha：

- CD-ROM

日本語 Compaq OpenVMS VAX：

- TK50 ストリーム・テープ
- 9 トラック 1600 BPI 磁気テープ
- CD-ROM

8 注文情報

日本語 Compaq OpenVMS Alpha

- ソフトウェア・ライセンス：

  ベース： QL-MT1J*-6*
  SMP ベース・エクステンション： QL-MT1A9-6*
  コンカレント・ユース： QL-MT3A*-3*

- ソフトウェア・メディア/ドキュメント (CD-ROM)：

  QA-MT1JA-H8

- ソフトウェア・ドキュメント (ハードコピー)：

  標準版ドキュメント： QA-MT1AA-GZ
  日本語版ドキュメント： QA-MT3JA-GZ

- ソフトウェア製品サービス： QT-MT1J*-**

日本語 Compaq OpenVMS VAX

- ソフトウェア・ライセンス：

  ベース： QL-005J*-6*
  SMP ベース・エクステンション： QL-005A9-6*
  コンカレント・ユース： QL-MT3A*-3*

- ソフトウェア・メディア/ドキュメント：

  QA-09SJA-H*
  (ベース・ドキュメント・セット付き)
  QA-001JA-H*
  (フル・ドキュメント・セット付き)

- ソフトウェア製品サービス： QT-001J*-**

詳細については，最寄りのコンパックコンピュータ株式会社の各支店/営業所にお問い合わせください。

9 ソフトウェア・ライセンス

本ソフトウェアはコンパックのライセンス規定に基づいて提供されます。コンパックのライセンス規定/方針についての詳細は，最寄りのコンパックの各支店/営業所にお問い合わせください。

10 ライセンス管理機能 (LMF)

本ソフトウェアは，Compaq OpenVMS ライセンス管理機能 (LMF) をサポートしています。ライセンス単位には，無制限ユーザ・システム，およびコンカレント・ユースがあります。コンカレント・ユース・ライセンスでは，規定された人数内で同時に誰でも，本ソフトウェアを利用できます。

ライセンス管理機能についての詳細は『Compaq OpenVMS Operationg System for Alpha and VAX Version 7.3 Software Product Description』(SPD) または Compaq OpenVMS Operating System のドキュメント・セット中の『Compaq OpenVMS License Management Utility Manual』を参照してください。

11 ソフトウェア製品サービス

コンパックでは，様々なサービス・オプションを提供しています。詳細については，最寄りのコンパック各支店/営業所にお問い合わせください。

12 保証

本ソフトウェアについては，コンパック所定のソフトウェア保証基準に定められた保証が提供されます。